

みしま MISHIMA SHIGIKAI DAYORI

市議会だより



帽子をかぶった富士 撮影者:石原 新二

CONTENTS

11月定例会 議案審議の概要	2
市政に対する一般質問	5
議会報告会を開催しました	13
先進地に学ぶ 視察報告	14
2月定例会のお知らせほか	16

令和4年 11月定例会

11月22日～12月8日
会期：17日間

●今回の議案は…

市長提出議案 11件
議会提出議案 1件

この号では次の項目を
Pick up!

Pick up 1

〈議第69号〉
【令和4年度三島市一般会計補正予算(第5号)】(全会一致)
■補正予算額
3億3,138万3,000円

Pick up 2

〈請願第1号〉
難聴者の補聴器購入に係わる負担軽減を求める請願



詳細は、三島市議会ホームページをご覧ください。

三島市議会 検索

Pick up 1
一般会計予算を
増額補正

エネルギー価格の高騰に配慮

○省エネ家電製品購入費補助金
4000万円

エネルギー価格の高騰による家計への負担を軽減するため、三島市内の電気店などで省エネ性能の高い対象家電を購入した三島市民に対し、補助金を交付します。

主な質疑

【質疑】補助制度の概要は。
【答弁】家電の電気使用量上位4品目であるエアコン、冷蔵庫、テレビ、照明器具のうち、一定の省エネ基準を満たした新品を自宅において使用するために、三島市内の

店舗または事業所で購入した人に対し、1世帯につき1回、最大2品目までを対象に補助金を交付するものである。

補助金額については、三島市内に本店・本社がある市内の店舗または事業所において購入した場合、補助率は購入費の25%、補助額上限を品目ごとに5万円とする。

また、市外に本店・本社がある市内の店舗または事業所において購入した場合、補助率は購入費の15%、補助額上限を3万円とする。補助金の申請については、令和4年12月1日から令和5年2月28日の間に納品が完了した対象となる省エネ家電について、令和4年

12月12日から令和5年2月28日までの申請受付を予定している。

質疑 補正金額の積算根拠と周知方法は。

【答弁】既に同様の補助制度を施行している県内市町の状態を考慮し算定した。

三島市の申請件数を全体で千件と想定し、そのうち三島市内に本店・本社がある店舗または事業所において購入する場合の申請件数を500件、それ以外の店舗または事業所において購入する場合の申請件数を500件と想定して、それらに品目ごとの5万円、3万円の上限額を乗じて算定している。



制度の周知方法は、ホームページやSNSに加えて、広報みしまと併せてチラシを配布するほか、三島市内の家電量販店や、小売店・電気工事店でもチラシ等を配布し、積極的に周知を図っていく。

○介護保険関連事業
1800万円

物価高騰等による負担を軽減し、介護保険関連事業の継続を図るため、市内の介護サービス事業所等に支援金を交付します。

主な質疑

【質疑】介護サービスの種別ごとの影響の特徴は。
【答弁】介護サービスの種別それぞれに物価高騰等の影響は生じているが、特に24時間、365日に対応が必要な入所施設が大きな影響を受けており、とりわけ特別養護老人ホーム等の定員の多い大規模施設は影響の規模、範囲も大きくなっている。



なお、入所施設においては、光熱費や食料費などを中心に影響が生じており、通所系事業所においては光熱費のほか利用者の送迎用車両のガソリン代について、訪問系事業所においては職員の利用者宅訪問等に使用する車両のガソリン代を中心に、影響が出ている。

質疑 静岡県の同事業と報償金の設定を合わせた理由は。

【答弁】長引くコロナ禍や、国際情勢の影響が深刻化する中、介護サービス事業所等の経営環境は厳しさを増している。市民の安全、安心な生活を守るため、介護サービス事業所等の事業継続のための支援は、喫緊の課題であり、即効性のある最大限の支援を図るため、県の介護サービス事業所等物価高騰対策支援金制度と同額の支援金を支給することとした。

○中学校費 学校管理費 修繕料
2010万円

中学校における学級数の増加見込みに伴う改修や、不登校支援室の新設、防火シャッター修繕等に要する経費を増額します。

主な質疑

【質疑】不登校支援室の設置に向けての学校改修により、どのような環境となるのか。

【答弁】令和5年度に中郷西中、北上中、山田中の3校において不登校支援室の改修を行い、その効果を確認しながら、順次全中学校での改修を進めたいと考えている。



【答弁】これまで、各中学校において、登校は可能だが自分の学級に入れない生徒に対し、使用していない教室などを活用し、学級指導等を行ってきた。特別な設備がない中で対応していたが、改修によりこれらの教室の環境改善を図る。具体的には、エアコンの設置や、部屋の一部にカーペットを敷きソファを配置すること、また生徒一人一人が学習に集中できるようにパーティションを設置することなどを想定している。

質疑 不登校支援室の設置についての今後の見通しは。

【答弁】令和5年度に中郷西中、北上中、山田中の3校において不登校支援室の改修を行い、その効果を確認しながら、順次全中学校での改修を進めたいと考えている。

〈その他、歳出補正予算の主な内容〉

●職員構成の変動など決算見込みによる人件費	△1億3,169万6,000円
●エネルギー価格高騰に伴う光熱水費	2億1,299万円
●子育て世帯物価高騰特別給付金給付事業	1億7,984万円
●児童保育事業	2,779万6,000万円
●市道維持修繕事業	4,000万円

Pick up 2
請願第1号

請願の審査

1件の請願が提出され、11月定例会最終日に福祉教育委員会に付託されました。閉会中に審査が行われ、2月定例会において、委員長が審査の結果を報告します。

●難聴者の補聴器購入に係わる負担軽減を求める請願

人事案件に同意
【三島市外4組合員公平委員会委員】
橋本裕子氏

ここが聞きたい!

一般質問

一般質問とは...

市議会議員が市に対して質問を行い、適切な市政運営を進めているか、チェックや提案をするものです。
15人の議員による質問が行われ、活発な議論が展開されました。

決に向けて、ゴミの出し方講座、交通安全講座等体験型の各種講座を実施している。今後も引き続き地域住民との交流や地域社会との連携を図っていく。



外国人労働者が増え、外国人労働者への期待が大きくなっているが、特にアジア圏からの外国人労働者と地域社会との連携が図れないか。

外国人労働者が増え、外国人労働者への期待が大きくなっているが、特にアジア圏からの外国人労働者と地域社会との連携が図れないか。

外国人労働者が増え、外国人労働者への期待が大きくなっているが、特にアジア圏からの外国人労働者と地域社会との連携が図れないか。

外国人労働者が増え、外国人労働者への期待が大きくなっているが、特にアジア圏からの外国人労働者と地域社会との連携が図れないか。

外国人労働者が増え、外国人労働者への期待が大きくなっているが、特にアジア圏からの外国人労働者と地域社会との連携が図れないか。

外国人労働者が増え、外国人労働者への期待が大きくなっているが、特にアジア圏からの外国人労働者と地域社会との連携が図れないか。

外国人労働者が増え、外国人労働者への期待が大きくなっているが、特にアジア圏からの外国人労働者と地域社会との連携が図れないか。

外国人労働者が増え、外国人労働者への期待が大きくなっているが、特にアジア圏からの外国人労働者と地域社会との連携が図れないか。



野村 諒子
(緑水会)



沈 久美
(改革みしま)



他の質問事項
有機野菜に親しむ次世代向け啓発の可能性



11月定例会 議決結果

<全会一致となった議案>

※全ての議案が全会一致となりました。

議案番号	件名	結果
議第69号	令和4年度三島市一般会計補正予算(第5号)	可決
議第70号	令和4年度三島市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決
議第71号	令和4年度三島市介護保険特別会計補正予算(第2号)	可決
議第72号	令和4年度三島市駐車場事業特別会計補正予算(第1号)	可決
議第73号	令和4年度三島市水道事業会計補正予算(第3号)	可決
議第74号	令和4年度三島市下水道事業会計補正予算(第2号)	可決
議第75号	公の施設の指定管理者の指定について(三島市北上高齢者すこやかセンター)	可決
議第76号	公の施設の指定管理者の指定について(三島市老人福祉センター)	可決
議第77号	三島市職員の退職手当支給に関する条例の一部を改正する条例	可決
議第78号	三島市手数料条例の一部を改正する条例	可決
議第79号	三島市外4組合公平委員会委員の選任について	同意
請願第1号	難聴者の補聴器購入に係わる負担軽減を求める請願	継続審査

過去の本会議や委員会の会議内容が読める

会議録検索システムをご利用ください

1 トップページの右上にある検索ボタンをクリックします。



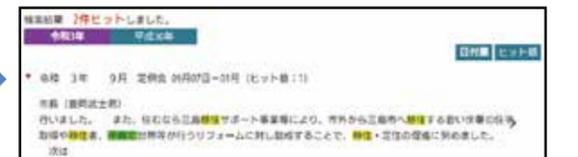
こちらからアクセスいただけます



2 キーワードや議員名、開催年等を指定して検索ボタンをクリックします。

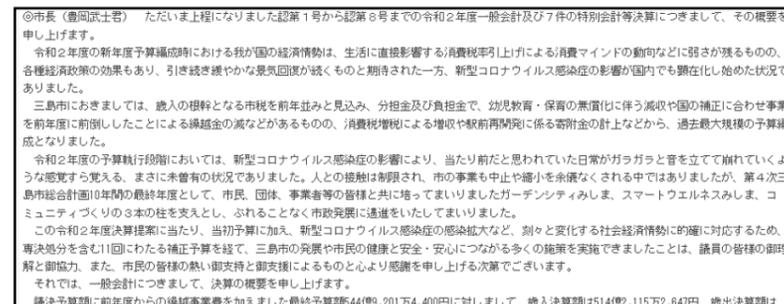


下部に検索結果が開催年ごとに表示されるので、閲覧したい発言を選択します。



検索時に指定したキーワードがマーカーで表示されます。

3 閲覧したい発言を選択すると、該当キーワードを含む発言の全文が表示されます。前後の発言も表示されるので、それらも併せてご覧いただけます。





村田 耕一
(公明)



粗大ごみ持ち込みの際の待ち時間短縮を

清掃センターに粗大ごみを持ち込む場合、混雑時は相当の待ち時間が発生している。予約制にして待ち時間解消が図れないか。

予約制については、待ち時間の解消に大変有効な手段であると考えます。実施に当たっては、予約制開始の周知やシステムの開発など課題はあるが、既に実施している県内他市町を参考に、毎月第1日曜日の粗大ごみ受入日の予約制の導入について検討していく。



谷田幸原線徳倉工区の巻町田交差点から市道幸原富士ビルレジ線までの早期の供用開始を求めるがいつになるか。

事業効果を早期発現するため、令和5年度末までに西側の2車線で暫定供用を開始することを計画している。なお、当該工区の完成は、令和7年度を目途としているが、次期工区である徳倉第2工区が供用開始するまでは、2車線での供用となる予定である。



岡田 美喜子
(新未来21)



子育て世帯の孤立防止の支援策

あかちゃんのへやの設置について、拡充とともに衛生面を考慮して市役所本館等の多目的トイレから独立した設置にできないか。

授乳やおむつ替えができるあかちゃんのへやは三島市独自の事業として事業者のご協力により設置を進めている。公的機関に設置するあかちゃんのへやの衛生環境改善については、市役所本館1階フロアにある多目的トイレから独立したスペースの確保について、前向きに検討をしている。



外国人の子どものための就学支援の充実

外国人が住民登録に訪れた際の就学案内など、外国人の子どもの就学機会の促進についてどのような取り組みを行っているか。

外国人が住民登録をした際に、就学希望の有無にかかわらず、学校教育課へ案内し、学習状況や日本語の理解度、中学校卒業後の進路希望、家庭状況などを個別に聞き取り、就学予定校へ伝えるとともに必要な配慮をするよう依頼し、学校との橋渡しを行っている。



古長谷 稔
(無党派)



市民に寄り添った行政サービス新体制の構築

実現に向けたロードマップ作りが必要。市民合意を得るべく、職員に加え専門家や市民が集まり、考える場を作ってはどうか。

令和4年度中に、環境や交通などを担当する部署が横断的に連携して取り組む「スマートシティ推進部会」を構築し、令和5年度は、アイデアソンやハッカソンを実施して市民との意見交流の場を創出し、市民が幸せになれるサービスを検討する。

※1アイデアソンとは…アイデアを出し合い、新たな発想を創出する取り組み。
※2ハッカソンとは…ソフトウェア開発の関係者が集まり、短時間で集中的に開発作業を行うイベント。

三島市沢地の違法盛り土の危険性(再質問)

県の調査結果は令和5年度中に出るといいますが、その間、盛り土崩壊の予兆を感じし、避難誘導等につなげ、災害を防げる対策は何かないのか。

今後、パトロールや県の調査で設置するひずみ計の観測データ、ボーリング孔の変位などにより、万が一、盛り土が危険な状態である場合には、県の調査結果を待たずに、応急対策を県と協議するとともに、周辺住民への注意喚起をしていく。



杉澤 正人
(無党派)



向山古墳群の国史跡指定への整備進捗状況

向山古墳群の国史跡指定へ向けた整備の進捗状況を伺う。

新型コロナウイルス感染症により発掘調査の実施や市教育委員会の開催に影響が出て遅延が生じている。一方、古墳群に関する講演会の開催、小学校への出張授業で古墳の話をする等、市民への啓発を地道に図り、国史跡指定への準備を着実に進めている。



青少年相談室・ふれあい教室の活動状況

北上公民館、中郷公民館での訪問相談の実態、現状、効果を伺う。

令和2年度から両公民館に分室を設置し、相談者に身近な場所で相談業務を行えるようにした。これまで友達の目が気になり、相談ができなかった児童生徒が、訪問相談の開始により相談につながったケースもあり、支援体制の充実が図られたものと考えている。

他の質問事項

コロナ禍の影響によるいじめ・不登校問題



河野 月江
(日本共産党議員団)



三島駅南口東街区再開発事業での権利変換計画への同意

市有地の従前資産額に何重にも疑念が残ることを踏まえ、市は同意前に従前資産額の検証と市民に説明責任を果たすことが必要では。

事業協力者募集時の従前資産額は専門家の意見を踏まえ設定しており、今後、市でも独自に検証することを検討している。市民には、権利変換を含め事業の進捗状況をお伝えするとともに、権利変換計画の同意の前には市民の代表である市議会への説明を予定している。



市内小学校における通学用かばんについて

ランドセルに限らず軽量で安価な通学用かばんの使用を児童・保護者が選択しやすくするために、教育委員会や学校ができる方策を伺う。

教育委員会や学校では通学かばんの購入に関する案内をしていないが、新1年生の保護者向けに実施している入学説明会において、登下校中の児童の安全を確保するために、児童が背負えるもので、両手の空くものがよいことなどについて、今後も丁寧に伝えていく。



土屋 利絵
(改革みしま)



不登校の子どもたちに向き合っていくために

令和5年度から中学校に設置される予定の不登校支援室を、子どもたちが訪れやすいものにしていくための考え方を伺う。

生徒一人一人が学習に集中できるようパーティションを設置したり、気軽に座れるソファを置いたりするなど、生徒が心を落ち着かせて過ごせる場所となるように努める。その中で、生徒一人一人のニーズに寄り添ったきめ細かな支援を行っていく。

箱根の木を使った積み木づくり

箱根の木を間伐し大切に使うべくアイデアが必要。箱根の木で積み木を作り、生まれた子どもたちに贈るのはどうか伺う。

このような新たな事業の開始に向けて、製作工程の確立、大きさや形の決定など様々な調整に時間を要する。また、森林環境譲与税の執行率が高い状況にあり安定的な製作費用の確保も課題であることから、譲与額の増額が見込まれる令和6年度に向けて事業化を検討していく。



他の質問事項

箱根の自然を大切にしながら発展させていくために



堀江 和雄
(公明)



民間のアイデアを生かした子ども子育て政策

子ども子育て政策をど真ん中に置くために、出生数の減少の要因など関連するデータを提供して民間からアイデアを頂いてはどうか。

本市では重要施策の一つに子育て支援を掲げ、各種事業を実施している。子育て支援の施策立案には行政や地方のくくりを越えたより広い視点が必要であることから、三島市共創指針に基づき、課題解決に向けた民間との共創の取り組みを引き続き積極的に進めていく。

三島市が進める取り組みの戦略性を高める

ガーデンシティの取り組みを進展させ、自転車や電気・水素を活用した交通機関など環境グリーンシティを目指すことへの見解は。

第3次三島市環境基本計画に基づき、再生可能エネルギーの普及、省エネルギー・スマートムーブ・緑化の推進、河川・水資源の保全等の取り組みを順次実施し、緑豊かな環境負荷の少ない、安全安心で持続可能な環境グリーンシティの実現を目指していく。



他の質問事項
地域再生の主体は民間活用にあること



中村 仁
(緑水会)



未来に繋がる大場・函南に周辺土地開発事業

現在実施している地権者への個別面談で高い同意率を得ている現状を踏まえ、本事業の今後のプロセスはどのようになると想定しているのか。

令和5年3月末頃を目途に地元において、土地区画整理事業の準備組合を設立し、令和5年度中に事業パートナーとなる民間企業の選定が考えられる。市では、令和7年度の市街化編入に向け都市計画手続等を進め、地元を全面的に支援し、早期事業化を目指していく。

受験生をはじめとする市民へのワクチン対応

自治体によって大きな差がある新型コロナワクチン接種の年齢別の対応やワクチン廃棄の状況など、三島市の現状と経緯を伺う。

ワクチン接種は18歳以上を対象に令和3年5月に高齢者から始め、4年4月に12歳以上、5月に5歳以上、11月に生後6か月からの接種を開始した。12月には病院の協力を得て12歳から17歳の予約枠を増やして対応した。なお、使用期限切れによる廃棄は938バイアルである。



他の質問事項
町内会別で違う三島市の公園管理の考え方



宮下 知朗
(新未来21)



北口自転車等駐車場の入出場時間見直し

三島駅北口自転車等駐車場について、午前5時台の東海道線を利用する人も利用できるよう入出場時間を見直しはどうか。

三島駅北口自転車等駐車場は午前6時から午後12時まで出入庫可能であるが、東海道線の運行は午前5時台からあるため、今後、アンケート調査等を通してニーズを把握するとともに、利用者の利便性向上を図るため、出入庫が可能な時間の変更を検討していく。



地域学校協働本部の市民・団体との連携強化

公共施設の複合化の動きを見据え、各施設を拠点に活動する市民・団体等と地域学校協働本部の活動との連携を模索できないか。

学校施設への複合化にあたっては、教育環境の確保および児童生徒や利用者の安全安心の確保が大切であると考えており、地域学校協働本部をはじめとするそれぞれの学校を支える各組織が連携して議論を深められるようサポートしていく。

他の質問事項
サイクルツーリズムの推進に向けた環境整備



藤江 康儀
(改革みしま)



三嶋大祭りをこれからも続けるために

文化芸術継承の観点から、少子高齢化に伴う三嶋大祭りにおけるしやぎりおよび当番町制度の存続継承問題について伺う。

当番町以外の地区の自治会・町内会や、地域企業との連携によるサポート人員の確保、中高生を含めた演者の育成等、新たな取り組みをしている事例については、三嶋大祭り山車委員会において情報共有を図り、当番町制度の存続を支援する。



市民力を生かした文化芸術の街づくり

市内にはギャラリー等の展示施設も開催頻度も少ない。市民目線に立ち、開催場所確保のため生涯学習センターの減免ができないか。

生涯学習センターの施設使用料については、生涯学習の振興という事業目的と、公共性を重視した基準となっている。条例施行規則にて、市が主催または共催する場合は全額減免、公共団体等が生涯学習目的で使用する場合は半額減免とする取り扱いを定め運用している。



石井 真人
(改革みしま)



三島駅南口東街区再開発事業に関する考え方

物価高騰に伴う費用便益比の変動と実施設計後の工事費の見直しについて現時点でどのようになっているのかを伺う。

事業採算性を踏まえ、ECI方式により施工計画の効率化などが検討されている。工事費が増加した場合の費用便益比の変動について一概には言えないが、費用便益比だけでなく、市の持続的な発展につながる事業となるよう取り組みむことが重要と考えている。

※ECI方式とは…プロジェクトの設計段階から施工者の技術力を設計内容に反映させ、コスト縮減や工期短縮を目的とする契約方式。

三島駅南北自由通路の今後の方針

三島市民の悲願となっている三島駅南北自由通路の今後の方針と財政負担について伺う。

平成15年以降の協議で、唯一可能性のあるルートとして、既存の引込線を活用した案を検討したが、整備効果が見込めず白紙となっている。具体的な整備計画案がない現状では明確な財政負担を示すことは難しいが、整備に伴う市の負担は巨額になると考えている。



他の質問事項
豊岡市政のこれまで12年間の実績と評価

議会活動報告

議員研修会を開催しました

特定社会保険労務士の岡田順二さんを講師に招き、「ハラスメント防止」をテーマに議員研修会を開催しました。

研修では、セクシャルハラスメントやパワーハラスメント、マタニティーハラスメントなどさまざまなハラスメントについて、事例を交えたお話を聞くことができました。今回の研修を活かし、今後もハラスメントのない三島市議会を目指していきます。



議会活動報告

年末の交通安全県民運動初日一斉街頭広報を開催しました

令和4年12月15日～12月31日まで実施された年末の交通安全県民運動に伴い、三島市役所本館前道路にて、議員が啓発運動を行いました。



傍聴席のご案内



本会議では、市民の皆さまの生活に関わる大切なことについて、議員が一般質問や議案質疑を行い、慎重に審議(審査)しています。

次回の2月定例会は、2月14日(火)から開会の予定です。ぜひ傍聴にお越しください。

なお、本会議は市議会ホームページからインターネット中継でもご覧いただけます。インターネット中継では、字幕配信を行っておりますので、ぜひご活用ください。



1 市役所駐車場南側にある「傍聴席・第2会議室入口」から入ります。



2 正面の階段を3階まで上ってください。



3 3階まで上ると、傍聴席入口の扉があります。検温とアルコール消毒をして、入室してください。受付は必要ありません。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスク着用にご協力ください。



4 入って左側に会議資料が置いてあります。ご自由にお持ちください。



5 傍聴席は32席あります。こちらが傍聴席です。数に限りがあるため、先着順となります。

下記の事項はご遠慮ください

- 1. 携帯電話の使用
- 2. 撮影・録音
- 3. 発言
- 4. 飲食(水分補給を除く)
- 5. 拍手
- 6. 帽子・マフラー等の着用

マスク着用にご協力ください。



服部 正平
(日本共産党議員団)



自転車利用者に義務化された保険加入推進を

Q 県条例で義務化された自転車保険加入について、市の自転車安全利用五則には明記されていない。保険加入推進について伺う。

A 民間の調査によると、自転車保険の加入状況は、義務化地域であることを知っている人の加入率が高いという結果となった。県条例で義務化していることを広報みしまやSNS等を通じて周知するとともに、自転車教室等において、継続して啓発していく。



新規最終処分場建設にあたっての住民への対応

Q 市が建設を目指す新規最終処分場第4埋め立て地に関わるパブリックコメントに寄せられた意見を、市はどのように捉えているか伺う。

A 地域住民の方が不安に感じる災害対策に関しては、確実に実施することとしており、今後も、新規最終処分場実施設計を作成していく中で、パブリックコメントの実施や住民説明会の開催など、地域住民の方への丁寧な対応に努める。



甲斐 幸博
(緑水会)



豊岡市長3期12年の総括と今後

Q これまでの3期12年の市政が、どのように三島の持続的発展を支え、幸せな暮らしを維持することができたと考えるか。

A 健康で幸せを実感できるまちづくりや緑や花があふれる美しく品格のあるまちづくり、子育て支援や地域のきずなづくりを進めた結果、観光交流客数の増加や好調な企業誘致、高い地価や住みやすさの高評価につながり、市民意識調査でも非常に高い市への愛着率を維持している。

Q 三島駅南口東街区再開発事業は、三島市にとって重要な事業であるが、これまでの経過と今後の取り組みをどう考えているか。



A 平成24年3月の三島駅周辺グランドデザイン策定以降、事業関係者の理解をいただく中で事業を進め、令和4年5月に組合設立が認可された。残る権利変換計画の認可が最後の山場であり、事業関係者の力を合わせ、何としても完遂させるとの決意で事業を推進していく。

他の質問事項 学校の環境整備

議会中継を 見てみよう

スマホでも！パソコンでも！



1 三島市議会ホームページや下のQRコードから議会中継サイトにアクセスします。

2 サイトのトップページでご覧になりたい日程を選択します。

3 動画画面をクリックすると、中継映像または録画映像が再生されます。

録画映像の場合は、映像を10秒ずつ戻すことができます。

生中継に限り、画面下部に字幕が配信されます。

※後日配信の録画映像には字幕は付与されません。



令和4年度 議会報告会を開催しました

三島市議会は、令和4年11月に市民や関係団体の皆さまと会場で直接意見交換を行う形式での議会報告会を行いました。

また、昨年度に引き続き、YouTube(三島市議会公式チャンネル)での動画配信と電子申請での意見聴取を行うWeb報告会も実施しました。

ご参加いただき、ご意見・ご感想をお寄せくださった皆さま、ありがとうございました。なお、いただいたご意見・ご要望の中で特に重要なものについては、常任委員会での調査や市当局への対応を依頼する予定です。

認知症対策について
認知症は、誰もがなり得るものであり、高齢化の進展により今後増加すると見込まれます。認知症になっても、住み慣れた地域で自分らしく過ごすために、どのような取り組みが必要か、ご意見を伺いました。

福祉教育委員会



11/12 (土)

総務委員会
新庁舎建設について
三島市役所新庁舎建設に向けての経過やこれまでに市民の方から寄せられた意見について報告を行いました。場所や規模、導入機能等さまざまな課題が考えられる中で、今後の新庁舎建設について市民の皆さまからご意見を伺いました。



11/7 (月)

動画配信
各委員会の報告動画を配信
三島市議会ホームページで各常任委員会の説明動画と資料のリンクを公開し、電子申請にてご質問・ご意見を募集しました。



意見受付
11/15(火)~
12/8(木)



経済建設委員会

中心市街地活性化について
三島市が取り組む「まちなかリノベーション推進計画」を中心に、三島市の中心市街地活性化について報告しました。他市の事例を紹介し、三島市の特徴を生かしたまちづくりや、三島市の強み・魅力とはなにかを市民の皆さまに伺いました。



11/12 (土)

調査結果報告 **ダイバーシティ推進検討特別委員会**

三島市議会では、多様な人材が議員として議会活動を円滑に行うことができるよう、必要な条件および配慮等について検討するために、ダイバーシティ推進検討特別委員会を設置し、18の項目について調査・検討を行いました。

令和4年11月定例会において委員長報告を行い、採決の結果、委員長報告のとおり承認されました。これらの検討結果を踏まえ、今後も引き続き、多様な人材が議員として活動するための環境整備に向けた取り組みを進めていきます。

検討経過

時期	検討経過
令和3年9月30日	全議員発議によりダイバーシティ推進検討特別委員会を設置 第1回特別委員会を開催し、正副委員長を互選
令和3年11・12月	第2回・第3回特別委員会を開催し、基本的な論点を確認、検討事項等を協議
令和4年2月2日	全議員を対象とした議員研修会をZoomによるオンライン方式で開催 講師：上智大学法学部教授 三浦まり氏 テーマ：政治分野における男女共同参画推進法をどう活かすか？
令和4年4～10月	第4回～第10回特別委員会を開催し、個別の検討事項等について協議
令和4年11月	全議員説明会を開催し、報告書案についての説明を実施 第11回特別委員会を開催し、報告書案を決定 11月定例会最終日で委員長が特別委員会での検討結果を報告

18の検討事項

詳しい検討内容については、ホームページに掲載している、調査報告書をご覧ください。下記QRコードからもご確認いただけます。

- | | | |
|------------------------------|---------------------------|-----------------------------------|
| 1 本会議及び委員会への出席のあり方 | 7 音声文字変換機器の使用及び処理速度への配慮 | 13 バリアフリートイレ(多目的トイレ)の整備及び利用に関する配慮 |
| 2 議員説明会及び研修会等への出席のあり方 | 8 電子音声等による発言及び入力時間への配慮 | 14 敬称の選択及びあり方 |
| 3 各種会議出席中の子どもの居場所等 | 9 文書質問制度の導入及び運用方法 | 15 通称及び旧姓の使用 |
| 4 議席までの導線確保 | 10 行政視察への参加のあり方 | 16 ハラスメントに関する相談窓口の設置 |
| 5 壇上及び質問席等での発言のあり方 | 11 行政視察への子ども又は介助者の帯同 | 17 ハラスメントの防止に向けた研修等の開催 |
| 6 起立及び挙手による採決への対応(投票への対応を含む) | 12 議員報酬等の特例に関する条例における支給割合 | 18 議会基本条例の一部改正 |

委員長：鈴木 文子 副委員長：甲斐 幸博
委員：野村 諒子 大石 一太郎
石井 真人 岡田 美喜子 河野 月江

調査報告書は
こちらから▶

委員長報告は
こちらから▶

10月

- 3・4日 総務委員会行政視察
- 5日 各派代表者会議
- 12～14日 経済建設委員会行政視察
- 13・14日 福祉教育委員会行政視察
- 18日 各派代表者会議
- 20日 ダイバーシティ推進検討特別委員会
- 21日 議会報告会運営会議
- 31日 議会報告会運営会議

11月

- 1日 議会報告会 (生涯学習センター・市役所本館)
- 2日 各派代表者会議、全議員説明会
- 4日 議員研修会
- 7日 議会報告会(市役所本館)
- 8日 全議員説明会 東部地区6市4町議会議長連絡会
- 10日 議会報告会(市役所本館)
- 12日 議会報告会 (防災研修室・生涯学習センター)
- 15日 各派代表者会議、議会運営委員会、ダイバーシティ推進検討特別委員会
- 22日～12月8日 11月定例会
- 22日 各派代表者会議、本会議(議案審議)、議会だより編集委員会
- 30日 一般質問

12月

- 1・2・5日 一般質問
- 1日 各派代表者会議、議会運営委員会
- 8日 本会議(議案審議)、各派代表者会議、議会だより編集委員会
- 15日 年末の交通安全県民運動街頭啓発
- 22日 議会報告会運営会議

視察報告



三島市が抱えるさまざまな課題を調査するため、委員会で先進地を訪問し、視察研修を行いました。

経済建設委員会 10/12～14

酒田駅前再開発事業 —山形県酒田市—

酒田駅前のジャスコ跡地に令和4年7月に完成した「交流拠点施設ミライニ」は、図書館、観光案内所、イベント広場、駐車場、バス停留所等の公共施設と、ホテル、レストラン、マンション等からなる複合施設。教育委員会が全体を所管し、指定管理者が管理を行う。館内で演奏会を開催するなど従来の枠にとらわれない自由な運営の図書館として、施設内のホテル、レストランや広場と連携するなど、さまざまな工夫をされていた。



空間を多目的に利用できるための工夫が今後の公共施設の参考にもなると感じました。



食文化創造都市推進事業 —山形県鶴岡市—

海、山、里の幸に恵まれ、だだちゃ豆など多くの在来作物があるなど豊かな食文化を生かして平成26年に国内初となるユネスコの食文化創造都市に認定。現在、令和元年から5年間を計画期間とする「鶴岡食文化創造都市推進プラン」を推進中で食文化の伝承・創造と共に産業振興にも力を入れ、食文化を生かした交流人口の拡大も図りつつ、食文化を柱にした地域づくりを進めている。料理人の育成、料理人と生産者との連携促進、フードツーリズムや交流イベント等、鶴岡ならではの政策が印象的。

中心市街地活性化基本計画 —山形県山形市—

中心市街地の大型店の撤退が相次ぐ中、現在第3期の中心市街地活性化基本計画に取り組んでいる。平成31年に中心市街地の将来像を描く中心市街地グランドデザインを策定し、3年後にこれを改訂し新テーマ「歩くほど幸せになるまち」のもとにさまざまなプロジェクトが進められている。ウォークアブルなまちづくりを目指す点、せせらぎを守り生かすまちづくりという点、さらには官民一体となった公共空間の整備・活用という点で、三島市のまちなかリノベーション計画とは多くの共通項を持っており、中長期的視野を持った将来ビジョンの重要性を示唆する事例であった。

先進地に学ぶ

福祉教育委員会 10/13・14

地域部活動推進事業 —埼玉県白岡市—

教員の負担軽減などを目的とし、学校の部活動の指導を外部の人材に委ねる地域部活動を、令和3年11月から市内の4校の中学校で始めている。地域部活動移行へのメリット・デメリットなどに関する見解や、生徒、保護者および教職員を対象とした実態調査アンケートの概要結果に基づく成果と今後の課題等、情報共有をした。

地域部活動を推進するために、「求められれば足を運んで説明する」市の担当課の姿勢が非常に印象的でした。関係者・関係団体それぞれの立場や思いを尊重し、丁寧に進めていくことが重要と考えます。



認知症対策 —神奈川県大和市—

平成28年4月に認知症に特化した業務を行う「人生100年推進課認知症施策推進係」を新設し、同年9月に「認知症1万人時代に備えるまちやまと」宣言を行った。また、令和3年9月には「大和市認知症1万人時代条例」を施行し、誰もが認知症の人に関わり、住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らし続けられるよう施策を推進している。

不登校特例校 —東京都八王子市—

病気や経済的な理由を除いた、何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因などにより、登校しないまたは登校したくてもできない児童・生徒のために設立され、令和4年度で19年目を迎えた。学習指導要領に定められた内容を基本としつつも、児童・生徒の一人ひとりの実態に即し、柔軟な教育課程を小・中学部で編成し教育活動を推進しながら、明るく暖かく通いたくなる学校を目指している。



総務委員会 10/3・4

新庁舎建設 —愛知県あま市—

海拔0m前後の平坦な低地が広がり、巨大地震が発生した場合は津波等により被害を受ける可能性が高いため、新庁舎敷地の高上げや液状化に備えた地盤改良の工夫がされている。地下水位が比較的高い特性を活かし、地下水利用による空調システム導入の仕組みが特徴的である。議場については多目的に活用できるフラットな床面で、議場卓はすべて可動式であり、定数変更等によるレイアウト変更へも対応可能となっている。



地中熱利用の熱交換システムや、太陽光発電システムの利用、雑用水の備蓄等による災害時における給排水機能の確保など、防災拠点としても有効的であると感じました。



新庁舎建設 —静岡県島田市—

ユニバーサルデザインを取り入れ、事務机は可動式とし、パーソナルロッカーを採用するなど、将来の働き方の変化に柔軟に対応できるような工夫がされている。島田特有の西風を利用した自然換気を行い、春秋の冷暖房の削減を図っている。多目的トイレのほか、親子トイレや男女共用トイレなど、誰もが自分に合ったトイレを選択でき、性の多様性への配慮が感じられる。

壁面の窓から風を取り込む仕組みが面白い。大きな吹き抜けから外光を取り入れる工夫、地下に雨水利用のピットを備えるなど、環境への配慮がうかがえる。地元の工業高校作成の新庁舎模型が素晴らしい。



あなたの写真を表紙に!! スマホでも!!

三島市議会では、市民の皆さまに議会の活動をお知らせするため、年4回（5/1号・8/1号・11/1号・2/1号）議会だよりを発行しています。

令和5年度は、より市民の皆さまに議会を身近に感じていただけるよう、表紙写真を募集いたします。下記の応募要項をご確認のうえ、ぜひご応募ください！

テーマ 私がみつけた三島の魅力

三島のまちがますます好きになる写真を募集します。
自然の風景や街中の写真でもOKです。

応募資格 三島市在住または三島市内に通勤・通学されている方。

応募規定 応募者（撮影者）本人に著作権があり、未発表のもの。
※応募は1人3点まで。応募者1人につき1点までの採用となります。

応募方法 以下のいずれかの方法で応募してください。

①電子申請：右記のQRコード、または市のホームページから応募フォームにアクセスし、必要事項をご記入のうえ、**JPEG形式（5MB以内）**の写真データを登録してください。



②郵送：氏名・電話番号・写真タイトル等の必要事項を応募用紙*に記入し、写真店などでプリントした**L版横構図**の写真を三島市議会事務局へ直接持参、または郵送してください。

*応募用紙は、市議会ホームページからダウンロードしてください。
(郵送先) 〒411-8666 三島市北田町4-47 三島市議会事務局 宛

応募上の注意事項

- 人物が明らかに特定できる写真の場合は、必ずご本人様の了承を得てから応募してください。
- 編集上、トリミング加工やキャッチコピー、キャプションの挿入等を行う場合があります。
- 応募作品は原則としてお返しできません。
- 採用作品の著作権は応募者本人に帰属します。

※その他詳細は、市議会ホームページに掲載しておりますので、そちらをご覧ください。



締切 ・令和5年3月1日まで

2月定例会のお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
2/12	13	14 本会議 (議案審議)	15	16	17	18
19	20	21	22 本会議 (代表質問)	23	24 本会議 (代表質問)	25
26	27	28	3/1	2	3	4
常任委員会 (予算審査)						
5	6 常任委員会 (予算審査)	7	8	9	10 本会議 (一般質問)	11
12	13 本会議 (一般質問予備日)	14	15 本会議 (議案審議)	16	17	18

本会議は午後1時、常任委員会は午前10時からの開会予定です。日程は変更になる場合があります。

議会だより編集委員会

より幅広い世代の方に親しまれるよう
努力してまいります。

委員長：宮下 知朗
副委員長：沈 久美
委員：甲斐 幸博
村田 耕一
河野 月江
佐藤 寛文

石井真人議員の 辞職について

令和4年12月11日に石井真人議員が同日告示された三島市長選挙に立候補したことに伴い、公職選挙法の規定に基づき、市議を辞職したものとされました。